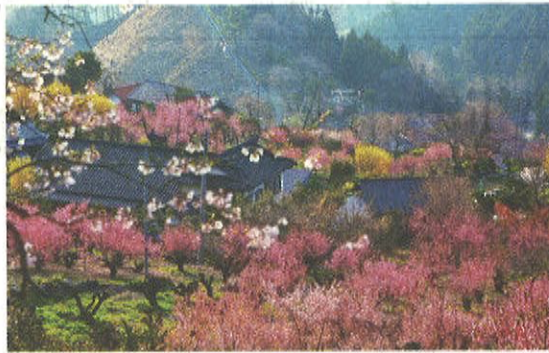


## 花桃の郷、ピンク一色に

東秩父村 3月中旬から見頃



3月中旬から見頃を迎える花桃の郷  
(写真は2015年)

【埼玉】都心から60キロ圏内に位置し、豊かな自然が残る東秩父村には、桃源郷と称される「花桃

の郷」がある。花桃を中心に、レンギョウやサクラ、サンシュユなど春の花木が7千本植栽されており、3月中旬から見頃を迎える。

花桃の郷は、大内沢地域の山の斜面の遊休農地を地域住民が解消し、花桃を植栽したのが始まり。個々の地主の力では復元不可能だった遊休農地だったが、地域の共同作業により5畝のまとまった面積を整備した。同地域は古くから枝物の産地でもあったことから、花桃を地域の枝物生産者に収穫・出荷してもらうことで、産地の維持に貢献する取り組みにもなっている。

花桃の郷を管理する集落協定会長の眞下均さん(73)は「美しい景観をつくり、誰もが笑顔と思いやりで満たされる環境づくりに努めていきたい」と笑顔で語る。